



並木中等story

令和2年6月16日号

陰口の心理学

皆さんの中で、友達の何気ない言葉が気になっている人はいませんか。私は、大学生になって心理学を学ぶまで、友達の言葉にびくびくとしていたところがあります。特に陰口に対しては、いろいろと悩んだこともありました。

心理学の先生は「**陰口は自分の不満を言っていることに変わらない。**」と話されました。さらに、陰口を言う人は“私の方がすごい、偉い”と主張したい人が多く、それを堂々と主張できないと、陰口になってしまいやすいということでした。表現の仕方も“みんなが言っている”との言い方をする人もいます。簡単に説明すると、**陰口は個人のストレス解消でしかないのです。**陰口は“**陰口を言う人の個人的問題**”で、あなたの問題ではないのです。詳しく学びたい人には、水島広子先生が書かれた『10代のうちに知っておきたい 折れない心の作り方』（紀伊國屋書店）をお薦めします。



《並木中等の感染防止対策》

- 昇降口で**サーモグラフィー**等を用いて体温を測ります 健康観察を行います
- 登校後も含め、機会あるごとに手洗いをします 各階に消毒液を設置します
- マスク**を着用し、教員と生徒が近い場面は**フェイスシールド**を使用します
- 教室の両側の窓、ドアを一部開け、換気をします 今後、扇風機も設置します
- 生徒どうしが対面する授業は当面控えます